中学地理プリント（書き取り）
日本の資源と産業 No.15

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

得点 ／20

1. 火山の地下にあるマグマの熱を利用して発電する方法を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
2. 1985年に先進5か国がドル安・円高へ誘導することに合意した出来事を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
3. 長野県に位置し、夏に涼しい気候を生かしたレタスなどの生産が盛んな高原地帯はどこ？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
4. かつて大阪湾周辺で、繊維製品などの製造を中心に発展した工業を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
5. 促成栽培が盛んで、京浜や京阪神といった大都市へ野菜を出荷している四国の県はどこ？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
6. 河川の勾配や水量を利用し、ダムなどで水をためてタービンを回す発電方法を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
7. 太平洋ベルトにおいて、東京都と神奈川県にまたがる、日本屈指の工業地域を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
8. 深刻な公害問題を乗り越え、低炭素社会をめざす先進的な取り組みが国に選定された都市を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
9. 太陽光や風力のように、自然界で繰り返し利用でき、発電時に二酸化炭素を排出しないものを何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
10. 福岡県に建設され、石炭資源を利用して日本の重化学工業の発展の起点となった製鉄所を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
11. 稚魚や稚貝を人の手で育ててから海に放流し、成長してから捕獲する手法を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
12. 自然の海や川で魚を捕るのではなく、人の手で育ててから収穫する手法を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
13. 日本企業がコスト削減を目的に生産拠点を海外へ移転した結果、国内の産業が衰退してしまう現象を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
14. 太平洋ベルトに工場が集まり、完成車を世界へ輸出している、日本を代表する産業分野を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
15. 生産された作物を大都市などの消費地へ流通させるために経由する、卸売の拠点となる場所を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
16. 日本企業が海外の工場建設や現地法人設立のために資金を投入することを何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
17. 近郊農業において、収穫した作物を短時間で市場へ届けるために主に用いられる輸送手段は何？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
18. 温暖な気候を利用して、通常よりも早く野菜を収穫する栽培方法に最も適している地域はどこ？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
19. 貿易摩擦を解消するために、日本企業が消費地の近くに工場を建設して生産を行うことを何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
20. 関東地方から九州にかけて、日本の製造業が集中している沿岸地域を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「日本の資源と産業」のプリント一覧がひらきます